

氏名	椎尾 一郎 SIIO ITIRO
所属 職名	人間文化創成科学研究科先端融合系 教授
学位	工学博士
専門分野	ヒューマンインタフェース
URL	http://www.sio.jp/
E-mail	sio@acm.org

研究者キーワード / Keywords

ヒューマンコンピュータインタラクション
ユビキタスコンピューティング
実世界指向インタフェース
日用品としてのコンピュータ
コミュニケーション支援

Human-Computer Interaction
Ubiquitous Computing
Real-world oriented interface
Everyday Computing
Computer mediated communication

主要業績

沖 真帆, 栗原 一貴, 塚田 浩二, 椎尾 一郎, イルゴール: 家庭の生活状況を奏でるオルゴール型インタフェースの研究 情報処理学会論文誌 Vol. 52, No. 4, pp. 1586-1598 (Apr. 2011) (<http://sio.jp/projects/papers/ipsj2011-homeorgel.pdf>)

中川 真紀, 塚田 浩二, 椎尾 一郎, ライフログを用いた遠隔美肌アドバイスシステム, 情報処理学会論文誌 Vol. 52, No. 4, pp. 1537-1551 (Apr, 2011) (<http://sio.jp/projects/papers/ipsj2011-skincare.pdf>)

椎尾 一郎, 元岡 展久, 塚田 浩二, 神原 啓介, 太田 裕治, Ocha House とユビキタスコンピューティング, 家とインタフェース特集, ヒューマンインタフェース学会誌 Vol.12 No.1 2010, pp. 7-12, 2010.2

椎尾一郎, Jim Rowan, Elizabeth Mynatt, "Digital Decor: 日用品コンピューティング" ヒューマンインタフェース学会論文誌, Vol. 5, No. 3, pp. 323(11) - 330(18), Aug. 2003. (<http://sio.jp/projects/decor/HIS/decor.pdf>)

Itiro Sio, Hitomi Tsujita, Mobile Interaction Using Paperweight Metaphor, Proceedings of the 19th Annual ACM Symposium on User Interface Software and Technology (UIST 2006), pp. 111-114, October 15-18, 2006, Montreux, Switzerland. (<http://sio.jp/projects/bunchin/p111-sio.pdf>)

研究内容 / Research Pursuits

"コンピュータが小型, 安価になることで, 日用品としてのコンピュータ利用が今後ますます進展すると予想されています. このようなコンピュータ利用形態をユビキタスコンピューティングと呼んでいます. 近未来においては, ユビキタスコンピューティングの実現により, 家庭でのコンピュータ利用がますます進展すると考えられます. そこで家庭において, 一般の生活者が必要とするコンピュータの実現をめざし, 以下の研究課題に取り組んでいます. この結果を実装し, 実験する目的で, お茶の水女子大学小石川職員住宅跡地に, ユビキタスコンピューティング実験住宅を建設しています. (1) ユビキタスコンピューティングのアプリケーションの提案 (2) 情報家電や日用品に組込まれたコンピュータ利用のための新しいインタフェース手法の提案 (実験住宅に関する情報は <http://ochahouse.com/> で公開しています)

In the near future, we will be using many single purpose information appliances equipped with ubiquitous, invisible computers. At that time, house will be the most important place for computer developers to deploy ubiquitous computers. We have built an e

■ 教育内容 / Educational Pursuits

人と人工物とのインタラクションを考え、使いやすいコンピュータを実現するための考え方を学ぶヒューマンコンピュータインタラクションの授業と、使いやすいコンピュータアプリケーションを開発するためのマルチメディアプログラミングの授業を担当しています。また、卒業研究と大学院では、生活の中で使われるユビキタスコンピューティングアプリケーションを実装し評価する研究を指導しています。

I am teaching human computer interactions and multimedia programming development. In the laboratory, students are developing various ubiquitous computing applications for everyday life of the future.

■ 研究計画

家電製品のみならず、家具、日用品、建具、家、建材など、いままでコンピュータとは無縁だったありとあらゆる身の回りの物に、コンピュータ、センサー、ネットワークが入ることで、今までにない新しいコンピュータアプリケーションが実現されると考えています。コンピュータメーカー、通信サービス、家電メーカーのみならず、日用品、家具、建材、ハウスメーカーなど、さまざまな分野のパートナーと共同研究が可能であると考えています。

■ メッセージ

ユビキタスコンピューティングの分野では、生活に密着したアプリケーションが主体になります。そこで、女性の視点に基づいたユニークな発想が求められています。情報科学分野の中でも女性の活躍がもっとも期待されている分野であると言えます。情報科学と生活科学の両方を得意とする本学は、この分野の女性研究者、女性技術者の育成を積極的に進めていきます。